

# 週間漁海況情報—第32号

平成24年8月13日

内容は水産研究所ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/suiken/> で公開され、毎週月曜日夜間に更新します。

徳島県立農林水産総合技術支援センター  
水産研究所

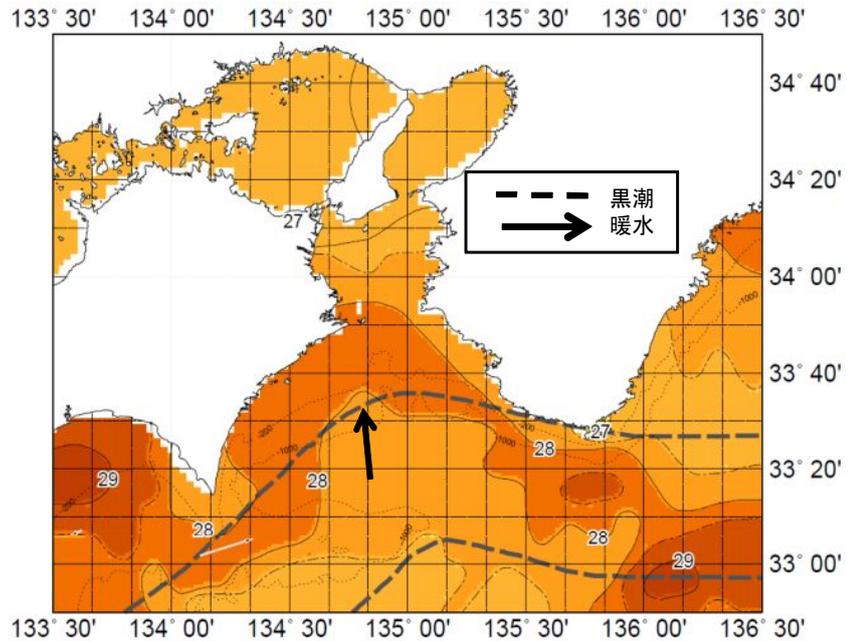
## 1. 海況の経過

右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図（H24.8.13）を示した。

黒潮は、室戸岬沖～潮岬沖で接岸している。

黒潮本流の表面水温は、28℃台である。徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で25～26℃台、紀伊水道で27～28℃台、海部沿岸で28～29℃台である。

黒潮系暖水が、紀伊水道外域へ広範囲に流入している。高気温の影響により、海水の表面水温は高めに推移している。



漁業調査船「とくしま」で8月7日に行った播磨灘海区の海洋観測では、全層において「やや高め」の23.8～27.5℃であった。

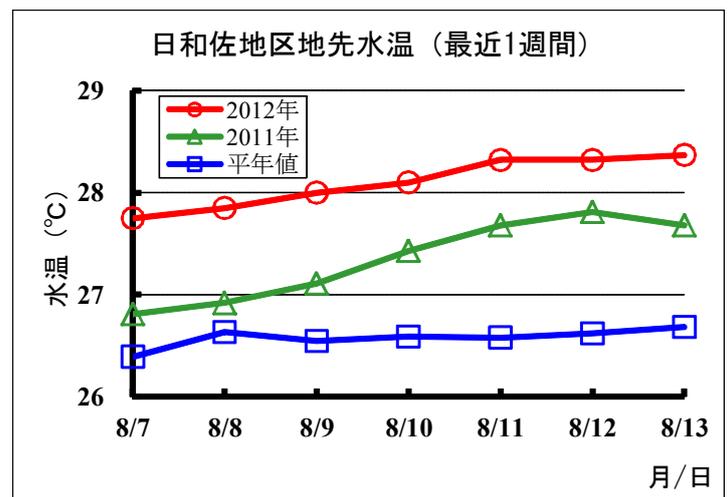
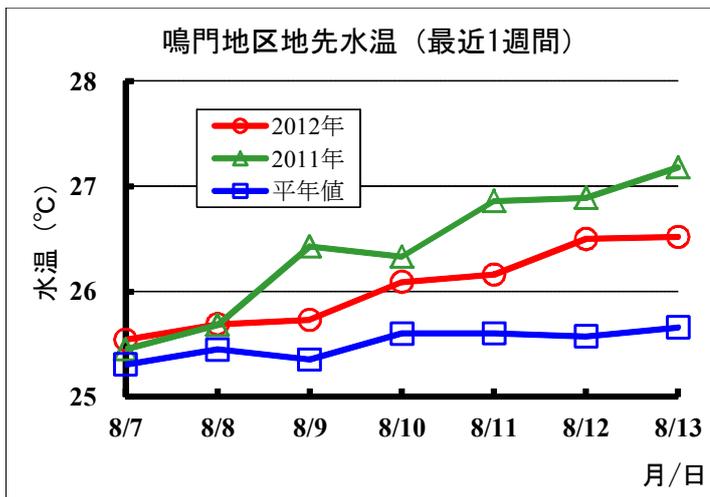
### 播磨灘海区観測結果

観測日		水 温				塩 分			
		表層	10m	20m	30m	表層	10m	20m	30m
8/7	今年値	27.5	25.6	24.7	23.8	30.9	31.0	31.1	31.2
	平年偏差	1.3	0.9	0.9	0.8	-0.5	-0.6	-0.7	-0.7
	前年偏差	1.4	0.6	0.4	0.8	-0.2	-0.2	-0.3	-0.3

**地先水温** 最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「平年並み」～「やや高め」の25.5～26.5℃、日和佐地区は「やや高め」～「高め」の27.8～28.4℃、牟岐地区は「高め」～「かなり高め」の28.4～29.1℃で推移した。

\* 水温偏差の目安

平年並み：±0.49以下、やや高め（やや低め）：±0.50～1.49、高め（低め）：±1.50～2.49、かなり高め（かなり低め）：±2.50以上



## 2. 漁況の経過

**延縄**：海部沿岸で、小主体にアカムツが0.3トン（1日1隻当たり24kg）水揚げされた。

**小型定置網**：海部沿岸で、ウルメイワシが0.2トン（同45kg）、マルソウダが0.2トン（同19kg）水揚げされた。

**釣り**：海部沿岸で、大主体にマサバが0.3トン（同9kg）、大・中主体にゴマサバが0.7トン（同14kg）、中主体にアカムツが0.8トン（同17kg）、小主体にキハダが0.3トン（同49kg）、マルソウダが0.3トン（同9kg）水揚げされた。

**パッチ網**：紀伊水道で、シラスが77.5トン（同500kg）水揚げされた。

漁業種類別集計表（抜粋） 8月6日～13日

県下5漁協から聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	アカムツ	13	307	24	小主体
小型定置網		ウルメイワシ	5	225	45	
		マルソウダ	12	234	19	
釣り		マサバ	36	329	9	大主体
		ゴマサバ	50	715	14	大・中主体
		アカムツ	48	797	17	中主体
		キハダ	7	345	49	小主体
		マルソウダ	31	284	9	
パッチ網	紀伊水道	シラス	155	77,500	500	

**昨年同時期の主な漁獲傾向**：昨年8月8日～14日に、海部沿岸では、小型定置網で、ウルメイワシが3.9トン、カタクチイワシが1.4トン、カンパチが0.3トン、ゴマサバが1.4トン、小・小主体にマアジが1.8トン、マイワシが3.3トン、釣りで、イサキが0.3トン、小主体にゴマサバが0.3トン、マルソウダが0.5トン、紀伊水道では、パッチ網でシラスが77.5トン水揚げされた。

**週間予報**：黒潮は、室戸岬沖～潮岬沖で「接岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地先で「平年並み」～「やや高め」の26～27℃台、日和佐地先で「やや高め」～「高め」の28℃台で推移する見込み。